

令和 4 年度

第 14 回とやま建設フォトコンテスト

総 評

建設業界が行う仕事は私たちの生活に欠かすことが出来ません。そのお陰で、安心・安全な日々を過ごすことが出来ます。

当コンテストは、今回で第 14 回目を迎えました。15 歳から 88 歳までの幅広い層から 61 名、112 点もの応募を頂き魅力溢れる作品の中から、6 名の審査員により選ばせていただきました。

たくさんの作品のご応募、本当にありがとうございました。

審査委員長 平井 勝美（富山県写真連盟委員長）

特 選 笠嶋 富士幸【つなぐ】（撮影場所:富山市）



以前の北日本新聞で、富山駅の L R T は富山ライトレールと将来的に市内電車とつなげる事が前提であったとの事。

この写真からは、南北を L R T で繋ぎ、市民の通勤・通学の足を守るんだという思いと、明日も頑張るぞという熱気が、男性の背中から強く感じられます。

働く人部門賞【呼吸を合わせて】 四十物 貞親（撮影場所:入善町）

素晴らしい瞬間をとらえていると思います。
レッカーで吊った梁を木製のカケヤで、熟練した3人の作業員と声を掛け合うリーダーが、作業をしている様子が力強く感じられます。熟練した職人でないとできません。

又、背景の雪山が大変良い。



物づくり部門賞【富山の顔】 河原 有花（撮影場所:富山市）

駅前ロータリーから写したと思いますが、CiCビル東横INNが連れ合う中、富山市役所の展望台が中央奥に映っています。場所、時間もとても良い。富山の夜空の色がこんなに魅力的だったとは！大変バランスの良い素晴らしい作品です。

これが高校生の作品とは感心しました。

絆部門賞【祝開通】 小西 喜之（撮影場所:砺波市）

国道359号線の開通式の開通イベントがあります。国、県、市町村、地域住民が一体となり協力して完成した道です。

多くの方がイベントに参加され、「ウォーキング&ランニング」を思い思いに満喫され楽しそうにされています。

この開通により地域の安心と快適な走行が確保され観光復興の後押しをしたいと思います。



佳作【会場を新たに】

平井 典子（撮影場所:砺波市）

砺波市のチューリップ公園の改修工事です。チューリップタワーの新旧が見られ、とやまオリジナル品種「ザ・グレゴールミズノ」をイメージした半球形のステージがあり、一昨年12月のライトアップは大変美しくきれいでした。私たちがつくった新しい公園を見に来て欲しいと言う来場者への願いが伝わってきます。



佳作【青天にそびえる】

浅井 清春（撮影場所:立山町）

立山室堂には数回行きましたが、こんな風景は初めて見ました。レッカーがアームを誇らしげに伸ばし「俺は立山より大きいんだ!」と言っているように見えます。

これからも観光客、登山者の安全を見守ってください。



佳作【一日のはじまり】

杉山 邦雄（撮影場所:高岡市）

北アルプスを背景に鉄筋の柱がいくつもそびえ立つように天に向かってるように見えます。

撮影者は何かを感じシャッターを切ったと思います。その通りの作品に出来上がったんですね。

82歳、これからも元気に頑張ってください。



第14回とやま建設フォトコンテスト概要

募集時期 令和4年8月～令和5年1月

主催 (一社)富山県建設業協会

後援 富山県、富山県建設産業団体連合会、東日本建設業保証(株)富山支店

応募点数 112点

入賞作品 7作品

募集部門

- 働く人部門……建設業で働く人々が、いきいきと誇りを持って物づくりに携わる姿等をとらえた作品
- 物づくり部門…建造物や建設機械などを対象に、建設産業のスケールの大きさや重要性等をとらえた作品。
- 絆部門……除雪活動や防災対策など、建設業と地域のつながり、人々の安心安全を守るために担っている役割・活動をとらえた作品